

# 第五次国有林野施業実施計画書

## 第一次変更計画

(四万十川森林計画区)

計画期間 [ 自 平成29年4月1日 ]  
[ 至 平成34年3月31日 ]

[ 変更年月 平成30年3月 ]

四 国 森 林 管 理 局

## 第五次国有林野施業実施計画（四万十川森林計画区）の変更について

### 【変更理由】

以下の理由により、国有林野管理経営規程（平成11年1月21日付け農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更する。

- ① 主伐・再造林の推進に伴う伐採・更新の追加及び保育量の増
- ② 密度調整が必要な林分の見直しによる間伐の追加
- ③ 保護林制度改正に伴う保護林の種類等の変更並びに「レクリエーションの森」及び「多様な活動の森」の新規設定

### 【変更する項目】

- 2 施業群の名称及びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
  - (4) 伐採総量
  - (5) 更新総量
  - (6) 保育総量
- 5 保護林の名称及び区域
- 6 レクリエーションの森の名称及び区域
- 8 その他必要な事項
  - (2) フィールドの提供

2 施業群の名称及びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(4) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合計
	主伐	間伐	小計	間伐量	計		
山地災害防止タイプ	—	41,417 (386)	41,417				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	—	1,823 (25)	1,823				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水 源 涵 養 タ イ プ	スギ分散伐区	81,650	2,698 (19)	84,348			
	ヒノキ分散伐区	<u>508,723</u>	—	<u>508,723</u>			
	スギ長伐期	—	58,698 (463)	58,698			
	ヒノキ長伐期	—	<u>791,159</u> (7,405)	<u>791,159</u>			
	複層林	—	74,202 (684)	74,202			
	ヒノキ長伐期複層林	—	3,455 (25)	3,455			
	その他複層林	—	—	—			
	択伐	—	7,005 (78)	7,005			
	ぼう芽分散伐区	29,757	—	29,757			
	設定外	—	940 (6)	940			
	計	<u>620,130</u>	<u>938,157</u> (8,681)	<u>1,558,287</u>			
合 計	<u>620,130</u>	<u>981,397</u> (9,092)	<u>1,601,527</u>	100,600	<u>1,702,127</u>	—	<u>1,702,127</u>
年 平 均	<u>124,209</u>	<u>196,767</u> (1,822)	<u>320,976</u>	20,120	<u>341,096</u>	—	<u>341,096</u>

注1 : ( ) は、間伐面積である。

注2 : 単位未満四捨五入により、計と内訳は必ずしも一致しない。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m<sup>3</sup>)

市町村名	林 地					林地 以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
須崎市	3,158	13,657	16,815				
宿毛市	60,330	70,005	130,335				
土佐清水市	<u>59,251</u>	111,814	<u>171,065</u>				
四万十市	85,746	<u>188,995</u>	<u>274,741</u>				
中土佐町	61,974	57,690	119,664				
梶原町	37,119	80,320	117,439				
津野町	39,839	28,105	67,944				
四万十町	205,702	337,512	543,214				
大月町	—	1,153	1,153				
三原村	48,976	73,476	122,452				
黒潮町	18,035	18,670	36,705				
計	<u>620,130</u>	<u>981,397</u>	<u>1,601,527</u>				

注：臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位ha)

区分		山地災害防 止タイプ	自然維持タ イプ	森林空間利 用タイプ	快適環境形 成タイプ	水源涵養 タイプ	合計
人工 造林	単層林造成	—	—	—	—	1,136	1,136
	複層林造成	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	1,136	1,136
天然 更新	天然下種 第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種 第2類	—	—	—	—	124	124
	ぼう芽	—	—	—	—	221	221
	計	—	—	—	—	345	345
合 計						1,482	1,482

注：単位四捨五入により内計と計が一致しない場合がある。

## (6) 保育総量

(単位ha)

区分		山地災害防 止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間利 用タイプ	快適環境形 成タイプ	水源涵養タ イプ	合計
保 育	下 刈	—	—	—	—	3,221	3,221
	つる切	—	—	—	—	29	29
	除 伐	—	—	—	—	438	438

注：単位四捨五入により内計と計が一致しない場合がある。

## 5 保護林の名称及び区域

種 類	名 称	新・既 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
生物群 集保護 林	たかとりやま 鷹取山	既 設	94.53 (保存地 区のみ)	4048ろ 4049い、 に	モミが優先し、ツガ等の針葉樹に混じって、ウラジログシ等の広葉樹が生育する。
希少個 体群保 存林	こすじうねやま 小筋畝山 コウヤマキ (遺伝資源)	既 設	18.42	3281は	地域的にまとまって生育しているコウヤマキの遺伝資源を保護する。
	かじがたにやま 梶ヶ谷山 モミ (遺伝資源)	既 設	8.51	2062に	地域的にまとまって生育しているモミの遺伝資源を保護する。
	ふるややま 古屋山 大道マツ (遺伝資源)	既 設	8.88	2060ち	大道マツと称され、地域的にまとまって生育しているアカマツの遺伝資源を保護する。
	さだやま 佐田山 ヤッコソウ (シイ遺伝 資源)	既 設	10.98	1243に	スタジイの根に寄生するヤッコソウの個体群を保護する。
	つるばやま 弦場山 ウバメガシ (遺伝資源)	既 設	4.37	1303に 1303と	地域的にまとまって生育しているウバメガシの遺伝資源を保護する。

注1：植物群落保護林「鷹取山」と郷土の森「ゆすはら」を統合し、生物群集保護林「鷹取山」とする。

注2：郷土の森「四万十源流」及び「西土佐」は廃止する。

## 6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
自然 観 察 教 育 林	くろそんやま 黒尊山	既設	299.74	3い、ろ1～3、6は1、2  ----- 1イ～ニ、2イ、3イ、ロ、 1い、2い、3は、	ブナ、カシ、ミズメ、カエデ 等にモミ、ツガを交える針 広混交の天然林で山頂付近 にはミヤマザサの群落があ り、稜線部には八面山・横 の森の高峰が連なり、これ らの山頂からは、宇和海を 一望することができる森林	育成複 層林施 業  ----- 天然生 林施業	駐車場(四 万十市)、 野営場、休 憩舎(四万 十市)		
	あしずり 足摺	既設	32.76	1244	足摺岬の突端部から海岸線 の切り立った断崖と太平洋 を望むことができ、ヒメロ ウ群落を含む亜熱帯樹林の 南国特有の特異な林相を観 察することができる。	天然生 林施業	植物園 (国)、園地 (国)、歩道 (国、高知 県)		
	計		332.50						
風  景	ささやま 篠山	既設	33.92	1061は、 1062に、と、 1063は、ち、	ミヤコザサとアケボノツツ ジの群落、ハリモミ、ヒノ キ等の巨樹白骨林が点在 し、四国西南部の原生林的 景観を残している。	天然生 林施業	道路、駐車 場(公共団 体)		
	いりのはま 入野浜	既設	36.42	104い	クロマツを上木とし下層は クス、ウバメガシ等の広葉 樹で、太平洋に面する海岸 砂丘地帯からなっており付 近集落等を潮風から保護す る一方林内散策、浜遊びの 場を提供している。	育成 複層林 施業	林道、歩道 (国、公共 団体)、車 道(公共団 体)		
林	とさどうがもり 土佐堂ヶ森	既設	6.37	2009へ	シイ、カシを主体とし、広 葉樹の中に、ヒノキ、モ ミ、ツガ、の古木が点在す る天然林で、山頂にある一 字の地藏堂を中心にそれを 取り巻く神秘的性格の強い 森林となっている。	天然生 林施業	歩道(国、 公共団体)		

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
風	くぼたに 久保谷	既設	124.51	3025は ----- 4041ろ1、2、 4042ろ、は、 4043と、4047ほ	モミ、ツガ、その他の針・ 広混交する原生林とも言える 老齢天然林で貴重な森林 となっている。	育成 複層林 施業 ----- 天然生 林施業	林道、歩道 (国、公共 団体)		
	もりがうち 森ケ内	既設	5.16	3022ろ、は、 ----- 3022い	旧藩造林を中心とする森林 と渓谷美に優れ、溪流の散 策に適している。	育成 複層林 施業 ----- 天然生 林施業	歩道(国、 公共団 体)、休養 施設(公共 団体)		
	おきつみさき 興津三崎	既設	93.13	3096い	半島の先端にあり、海岸特 有の常緑広葉樹林と半島か らの眺望に優れている。	天然生 林施業	車道、歩道 (国)		
景  林	いらずやま 不入山	既設	242.27	3252は 3279い、に1～8 ----- 3250と、3251へ、 3253ろ、3277ほ、 3278へ、ち、よ1、2、 3279ほ、3281に、ほ、 3282ろ、は、3283は、 ほ、3284へ、る1、2、 3285は、 3286ろ、は、と	針広の混交する老齢天然林 で野鳥の生息も多く、ハイ キングや探鳥会などに利用 されている。	育成 複層林 施業 ----- 天然生 林施業	林道、歩道 (国)、駐車 場、休憩舎 (津野町)		「森の 巨人た ち100 選」の モミ (3250 と)
	とどろだにやま 轟谷山	既設	32.31	3237は	天然ヒノキ、モミ、ツガ、 広葉樹の混交する原生林的 な森林で、探鳥会などに利 用されている。	天然生 林施業	歩道(国、 公共団 体)、展望 台(公共団 体)		

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
風景 林	おおとう 大 堂	既設	104.56	1304ろ、 1308ろ、は、1309 い	海岸線から直立した断崖と そこからの太平洋の雄大な 眺望及びビロウ群落を含む 南国特有の亜熱帯樹林	天然生 林施業	駐車場 (県、大月 町)、展望 園地、園地 (大月町)、 車道(大月 町)		
	計		678.65						
風景 探 勝 林	いちのまたけいこく 市ノ又溪谷	既設	52.66	4085は、4086は	周辺は若齢人工林となっ ているが当区域は原生状態が 維持され、貴重な動植物の 生息地となっている。	天然生 林施業	歩道(国、 公共団 体)、休養 施設(公共 団体)		
	<u>しまとげんりゅう のいもり</u> <u>四万十源流の森</u>	新設	<u>5.07</u>	<u>3251り</u>	<u>不入山を源流とする四万十 川の源流点があり、地域の 象徴として、住民の憩いの 場、交流の場及び保健・文 化・教育活動の場を利用さ れている。</u>	<u>天然生 林施業</u>	<u>記念碑(公 共団体)</u>		
計			<u>57.73</u>						
合 計			<u>1,068.88</u>						

8 その他必要な事項  
 (2) フィールドの提供

対象地(林小班)	設定の目的	備 考
4085ろ、4086ろ	ふれあいの森 「市ノ又山ふれあいの森」	実施主体：四万十樵塾 協定面積：8.87ha
3038に	社会貢献の森 「森ヶ内山ふれあい事業」	実施主体：(社)高知林業土木協会 「しこくの森づくりに参加する会」 協定面積：10.30ha
104い	社会貢献の森 「入野松原ふれあいの森」	実施主体：佐賀町林業研究会 協定面積：24.38ha
2い、3ろ3、3は、 4に2、6い4、7と、ぬ、 9は、10い2、は3、ほ、 11い1、ろ1、ろ3、 12い、は、に、 13い、ろ、に、 19い、は、23ろ、 24ろ、に、と、 25ろ、に、26は、に、 27ほ、へ、 28い1、は、へ、29は、 30い1、い2、ろ、は1、 は2	多様な活動の森 「黒尊天然林と 地域遺産を巡る森」	実施主体：西土佐やまもりーず 協定面積：13.20ha(6.20km)
1241い、 1243に	多様な活動の森 「足摺・照葉(てるは) の森」	実施主体：足摺白皇山・自然と歴史保全活動 の会 協定面積：59.33ha
3282い、ろ、は、 に、ほ	多様な活動の森 「てっぺん四万十裏源 流の森」	実施主体：郷地区活性化委員会 協定面積：65.06ha
2010い	多様な活動の森 「西土佐藤ノ川ヒノキ仙人 の森」	実施主体：四万十市 協定面積：4.11ha